



尾形的

1都1道2府43県〇一期一景

photo: Masashige Ogata, writing & layout: Misao Ogata

第四十四章

一番乗りでお出迎え

奈良に来るのは中学の修学旅行以来。しかもその時に何を観て回ったのか、ほとんど記憶にない。今日はあまり時間がないので、自慢の野性的カンで行動するのは諦め、ハズレなしの王道を行くべきと判断。東大寺へと向かった。朝も早かったせいか、参道に並ぶ店はみなシャッターが下りている。奥へと歩を進めるうち、学生の頃は全くもって興味も湧かず、どれも同じように見えていた建造物が、それぞれ個性的な趣や佇まいを見せていることに気づく。

大仏殿へ足を踏み入ると、大仏様の醸し出すオーラと迫りに圧倒された夫。「こんな凄いものを観ていながら、中学生の頃は何も感じなかったのか？まあ、大人になって初めてその価値を知るのかもな」なんてことを考えながら、元来た参道を引き返した。すると、どこからともなく一頭の子鹿が現れた。

その子鹿に近づこうとした瞬間、子鹿は夫を完全に無視、背を向けて夫の目の前に「ちょこん」と座り込んだ。子鹿は真っ直ぐに続く、参道の入り口を見つめている。どうやら観光客が来るのを待っているようだ。その人たちがくれる「鹿せんべい」がお目当てなのだろう。お腹が空いて仕方がなかったのか、誰よりも先にここへやって来た。「今日は一番乗りだ！」と言わんばかりの後ろ姿。

シカトされながらも、その愛らしさに心奪われシャッターを切る。夫としては、それなりに“大人の旅”を愉しむつもりだったようだ。しかし、結局は学生時代となんら変わらず、国宝級の建造物より鹿に軍配が上がることになった。

Profile

尾形正茂 株式会社シェルパの代表であり、カメラマンとして広告や雑誌の他、CDジャケットやグラフィックなどに携わり日々格闘中。

尾形 操 平成17年よりフリーとして独立。現在はMacによる広告などのレイアウト・デザインに携わり日々格闘中。

シェルパホームページ

▶ <http://www.sherpa-jp.com>

